

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院脳神経外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：脳腫瘍の遺伝子変化と治療反応性の解析 特に脳腫瘍由来細胞株を用いた研究

1. 研究の概要

従来の形態学的特徴に加え、遺伝子解析の結果を含めた診断を行うことが、正確な診断には必須となっており、治療効果の予測の面からも、脳腫瘍の遺伝子解析の重要性が増している状況があります。

今回、熊本大学医学部脳神経外科にて集められた脳腫瘍サンプルを用い、宮崎大学医学部脳神経外科にて、遺伝子に関する解析を行う事となりました。

本研究は、本学においては、以下の研究体制で実施します。

【実施責任者】

竹島 秀雄 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野・教授

【主任研究者】

山下 真治 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野・助教

【分担研究者】

松元 文孝 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野・助教

【連絡先、研究事務局】

宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野 TEL 0985-85-3128

2. 目的

脳腫瘍の診断・治療における遺伝子解析の重要性は先にお話した通りですが、現時点でも未知の遺伝子異常が多く存在すると考えられ、その解析は急務と言えます。当教室も解析施設の一つとして、既存の遺伝子異常の評価に加え、新たな遺伝子異常の発見を目的とした研究を計画致しました。

この研究は、脳腫瘍の治療に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日まで行われます。

4. 対象者

2003 年 4 月 1 日から 2028 年 2 月 28 日に熊本大学医学部附属病院に入院され、脳腫瘍の治療を受けられた方が対象となります。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、脳腫瘍の組織の検査結果、画像所見、治療予後、その他患者様の基本情報を利用して頂き、これらの情報をもとに遺伝子異常を解析します。

1. 本研究で利用する試料・情報の内容

既存試料と臨床情報(腫瘍組織、診断名、患者基本情報、画像データ、治療予後)

2. 他機関から当該試料・情報の提供を受ける場合

・施設名：熊本大学医学部附属病院脳神経外科

・施設責任者：教授)武笠 晃丈 担当者：特任助教)篠島 直樹

・提供する(あるいは提供を受ける)試料・情報の種類

既存試料と臨床情報(腫瘍組織、診断名、患者基本情報、画像データ、治療予後)

宮崎大学医学部附属病院脳神経外科

職名：助教 氏名：山下 真治

電話：0985-85-3128

FAX：0985-84-4571